

平成29年度 部局長マネジメント方針

消防局総務部長 ふじと 藤戸 いつお 逸夫



仕事に対する基本姿勢

我々、消防局が目標とするところは「市民生活の安全確保」であり「安全安心なまちづくり」であります。

この目標を達成するため、消防局総務部は、消防業務の重要施策に係る企画・立案を始め、消防職員の人事・教養、消防予算や消防施設等の管理、消防団組織に係る事務などを行っています。

昨年、本市では幸いにも大きな災害等は発生しておりませんが、全国では、熊本地震や糸魚川市の大規模火災など社会的影響が大きい災害が発生いたしました。

これらの大規模な災害等にも対応出来る強固な消防を維持するため、西消防署や消防団屯所、消防車両などハード面の整備推進を実施しつつ、ソフト面として、消防教育機関への派遣等による人材育成を充実させてまいります。また、地域防災力の重要な役割を担っている消防団と一体となり、より連携を深めた消防体制を構築してまいります。

平成28年度の振り返り

- ・ 昨年度の西消防署の建替え事業につきましては、平成27年度末に完成した一部庁舎（南側）に引き続き、残りの庁舎（北側）の建設が始まりスケジュール通り工事が進んでいます。
- ・ 高機能消防指令センター整備につきましては、年度当初から整備事業委託事業者選定委員会を立ち上げ、プロポーザルにより委託事業者が決定し、現在、平成30年4月の運用開始に向けシステムの構築を行っています。
- ・ 消防団の充実強化につきましては、現場活動時の装備及び安全管理をさらに強化するため、防火服及び投光器を整備しました。また、平成29年度に建築予定の消防団屯所に係る設計を実施し、地元自治会の更なる協力を得て、消防団屯所の完成に向けて全力で取り組んでまいります。
- ・ 人材の育成につきましては、2019年にラグビーワールドカップが本市で開催されることから集団災害発生時に対応できるよう、テロ災害等に特化した研修に職員を派遣するなど、各種研修を通じて職員の知識と技術を高め、消防体制の強化を図りました。

1 西消防署の建替え

近年、東日本大震災をはじめ熊本地震や鳥取県中部を震源とする地震など全国各地で大規模な地震が頻発しているほか、近い将来には南海トラフ巨大地震等の発生が危惧され、本市でも甚大な被害が予測されています。これらの大規模な災害等に対応するため、西消防署の建設工事を平成26年度から進めており、平成27年度末には庁舎の一部が完成し、運用を開始しています。

今後も計画に遅れが出ないように引き続き進行管理に努め、本年7月の庁舎完成を目指し事業を進めてまいります。

【西消防署 南側】



【西消防署 北側】



2 消防団の充実強化

「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が制定され、消防団の重要性が再認識されたところであります。地域防災力として重要な役割を担う消防団の活動拠点である消防団屯所の建替えについては、近隣住民の皆様からの理解と協力を得て計画的に進めてまいります。

また、地域の安全・安心の向上のため、消防団車両の更新整備を図るとともに、現場活動時における消防団員の安全確保のため、装備や資機材の充実強化に努めます。

3 人材の育成

ベテラン職員の大量退職は落ち着きましたが、職員が若年化したことから研修等を通じて倫理観の醸成を図り、消防吏員としての資質の向上に努めるとともに、管理監督体制の強化に取り組めます。

また、社会公共の安全に対する要求が多様化し、その水準も益々高くなっている中、消防

の使命達成のため、職員一人ひとりが自覚と責任を持って職務に取り組み、職員の能力や可能性を引き出し、組織力の一層の向上を目指してまいります。